

市・商工会議所・農協・金融機関・一般市民等の地域内連携により、 「まちづくり会社」が事業主体となり、官民協働で中心市街地の再生を実現

●中心市街地活性化事業第一弾

空き地だった病院跡地に、農と食をテーマとする
にぎわい滞留拠点「フラノマルシェ」を開設

◆事業実施者： ふらのまちづくり(株)

◆事業概要： 国道38号線沿いの病院跡地を活用して、農産物直売所、スイーツカフェ、地域物産販売所(スーベニアショップ)等の商業施設及び駐車場を整備。

○開業： 平成22年4月



(フラノマルシェ)

経済波及効果
15億円超(初年度)

(注)「経済波及効果」は、建設投資効果、消費効果
(原材料波及効果・所得波及効果の富良野
圏・一次効果)から推計
(調査：中小企業基盤整備機構北海道本部)

工夫したポイント

- ・全国的に高いブランドイメージを持つ富良野産の地域資源(農・食・工芸品等)を販売するテナントの構成にした。
- ・民間主導により、地元企業を中心に出資を集めて、地域住民、商業者等のコンセンサスを形成しながら事業を進めた。
- ・あえて軽食以外の食事を提供するスペースを設けず、インフォメーションコーナーを設置し、周辺商店街の飲食店への誘導を図った。

成果

- ・事業実施前の中心市街地への来訪者は年間約8万人程度であったが、当初目標を大幅に上回り初年度年間55万人超が来場。本年7月に累計400万人を突破。平成27年度は単年度120万人強の入込みが見込まれる。
- ・当施設周辺の飲食店では、これまで出来たことがない行列ができるなど周辺商店街への波及効果が生まれている。

◆平成26年度の来場者数 85万人 (前年度79万人)

◆視察件数 64件 (前年度 47件)



ふらのまちづくり(株) 2013.10.8



●中心市街地活性化事業第二弾 平成24年～27年6月 東4条街区地区市街地再開発事業(ネーブルタウン)完成

商業・賑わいゾーン

既存商店の再集積、新たな商業店舗の創出のほか、マンションの併設により、“まちなか居住人口”の増加を図る。

- ・全天候型地域交流ホール
- ・マルシェ2
- ・マンション

富良野東4条街区
(ネーブルタウン計画)

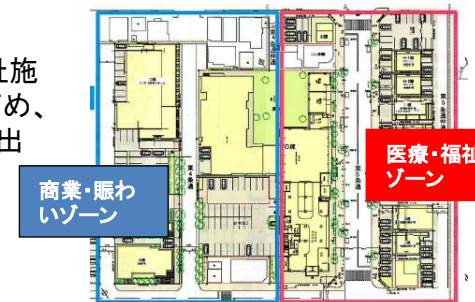


フラノマルシェ

医療・福祉ゾーン

地域に必要な不可欠な医療・福祉施設を配置し、街中の利便性を高め、中心市街地への人の流れを創出する。

- ・老人介護施設
- ・市立保育所
- ・クリニック、調剤薬局



商業・賑わいゾーン

医療・福祉ゾーン